



細やかな指導を受ける児童たち

トップアスリートが技を伝授 岡山シーガルズの選手が指導

邑久B&G海洋セン 岡山シーガルズの選手
ター体育館で12月2日、やコーチ8人が、児童た
市内のスポーツ少年団・ちにレシーブやフォー
クラブチームの児童約 メーションなどの細や
80人が岡山シーガルズ かな指導を行いました。
の選手を講師に迎え、 指導を受けた滝下敏
バレーボールの指導を 菜さん（12歳・邑久町
受けました。 福元）は、「今まで苦
これは、競技力の向 手だったことが、指導
上と地域スポーツの振 を受けてからできるよ
興を図るため、県が行 うになってうれしい」
っている晴れの国トッ と息をはずませて話し
プアスリート派遣事業。 ていました。

渋染一揆から150年 人権週間歴史講座

牛窓支所で人権週間中
の12月10日、「渋染一揆
に学ぶ」と題して歴史講
座が開催されました。本
年は、渋染一揆から150
年経つ節目の年。
柴田一就実大学名誉教
授を講師に迎え、約50人
が参加し、渋染一揆の背
景や嘆願運動などの話を
聞きました。当時、差別
に気づき、その差別とた
たかう結束力を持ち、人
間としての尊厳を回復し
た人々について、学びま
した。
受講者は、柴田教授の
ユーモアを交えた、分か
りやすい話を熱心に聞いて
いました。



受講者の皆さんは、講師の話に熱心に聞いていました

心地よい音にうっとり 牛窓病院院内コンサート



民族楽器の新しい音色に聞き入る皆さん

市立牛窓病院で11月25日、
心地よい音に触れ、癒やし
の時を過ごそうと、院内コ
ンサートが行われました。
牛窓在住の「喜楽堂T o
shii&七海」の夫婦ユニ
ットが、インディアンフル
ートや土笛などの民族楽器
を演奏。また、いのちの大
切さや自然との共生をテー
マにしたオリジナルソング
の弾き語りも行われ、患者
さんや病院関係者は、その
心地よい音に聞き入ってい
ました。
その後、病院の職員有志
が「すべてに感謝」を歌と
手話で披露。会場の皆さん
は、ひとときの心地よい癒
やしの時間を過ごしました。



日本舞踊「東都獅子」を舞う藤間善清さん

優雅で洗練された琴や舞 伝統芸能特別公演—夢のしらべ—

ゆめトピア長船で11月19
日、「瀬戸内市伝統芸能特
別公演—夢のしらべ—」が
開催されました。情操豊か
な市民文化の向上や芸術文
化の継承と発展を願い、瀬
戸内市文化協会が特別公演
として企画。人形劇・箏曲・
詩吟と詩舞・日本舞踊のス
テージが次々と繰り広げ
られました。また、人形づ
くり教室や華道部の皆さん
による花の展示も行わ
れました。
会場の観覧者は、格調高
く、その優雅で洗練された
琴や舞に魅了され、惜しみ
ない拍手を送っていました。



笑顔の瀬戸内クラブロマンスの皆さん(左から河原さん、上野さん、原野さん、岸野さん)

日々の練習が実を結び ペタングの全国大会で準優勝

静岡県伊豆の国市韮
山運動公園で10月28、
30日の3日間、第19回
全国健康福祉祭しずお
か大会(ねりんびッ
ク静岡2006)のペ
タンク交流大会が開催
され、瀬戸内クラブロ
マンズが準優勝になり
ました。
瀬戸内クラブロマ
ンスは、上野發三郎さん
(邑久町下笠加)、原野
潔志さん(牛窓町長
浜)、岸野元美さん(邑
久町豆田)、河原照正
さん(邑久町山田庄)
の4人編成。全国から
64チームが出場した
大会で、練習の成果を
十分に発揮しました。
「グラウンドをいか
に早く読むかが勝負。
我慢強くプレーでき、
特にチームワークが良
かった」と話す選手兼
監督の上野さん。次の
試合に向け、日々練習
する皆さんの姿がそこ
にありました。

地域の結びつき深める 福岡福祉まつり

第13回福岡福祉まつりが
11月26日、福岡集会所な
どで開かれました。
リハビリ体操やステージ
発表、写真や書道などの作
品展示があり、大勢の皆さん
でにぎわいました。参加
者の皆さんは、地域の皆さん
と触れ合いながら、楽し
いひとときを過ごしました。
また今年も、福祉まつり
に合せて『第1回福岡大
市』も開かれました。会場
には鮮魚や焼き鳥、うどん
などの出店があり、大勢の
皆さんがお目当ての品物を
買い求めていました。
福岡は、年に1度福祉ま
つりを開いて地域の交流を
深めています。



みんなで体を動かし、リハビリ体操